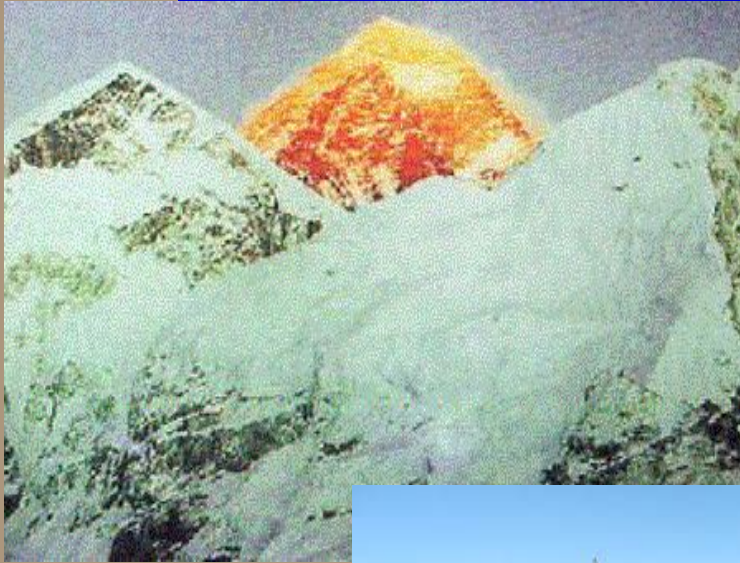


第4回アジアふれあいクリスマスパーティ
2011年12月11日(日)

ネパールの紹介

(お釈迦様はネパールにお生まれになりました)



講師: ラジブ・シュレスタ
千葉大学人文社会科学研究科博士後期過程3年
E-mail: rajeeshrestha@gmail.com

講演の目的

ネパールについてのステレオタイプの考え方を払拭するため、本当の情報を提供する。

講演の流れ

I ネパールの概要

- 1) ネパールの地理
- 2) ネパールの基礎情報
- 3) ネパールの誇り
- 4) ネパールの歴史
- 5) ネパールの文化紹介
- ① ネワール民族の社会文化

II. ネパールの学校システム

III. ネパールの世界遺産

IV. ネパール首都圏・遠隔地比較

V. 日本とネパールの国際交流

VI. 私のネパールへの貢献活動

VII. 終わりに



I. ネパールの概要



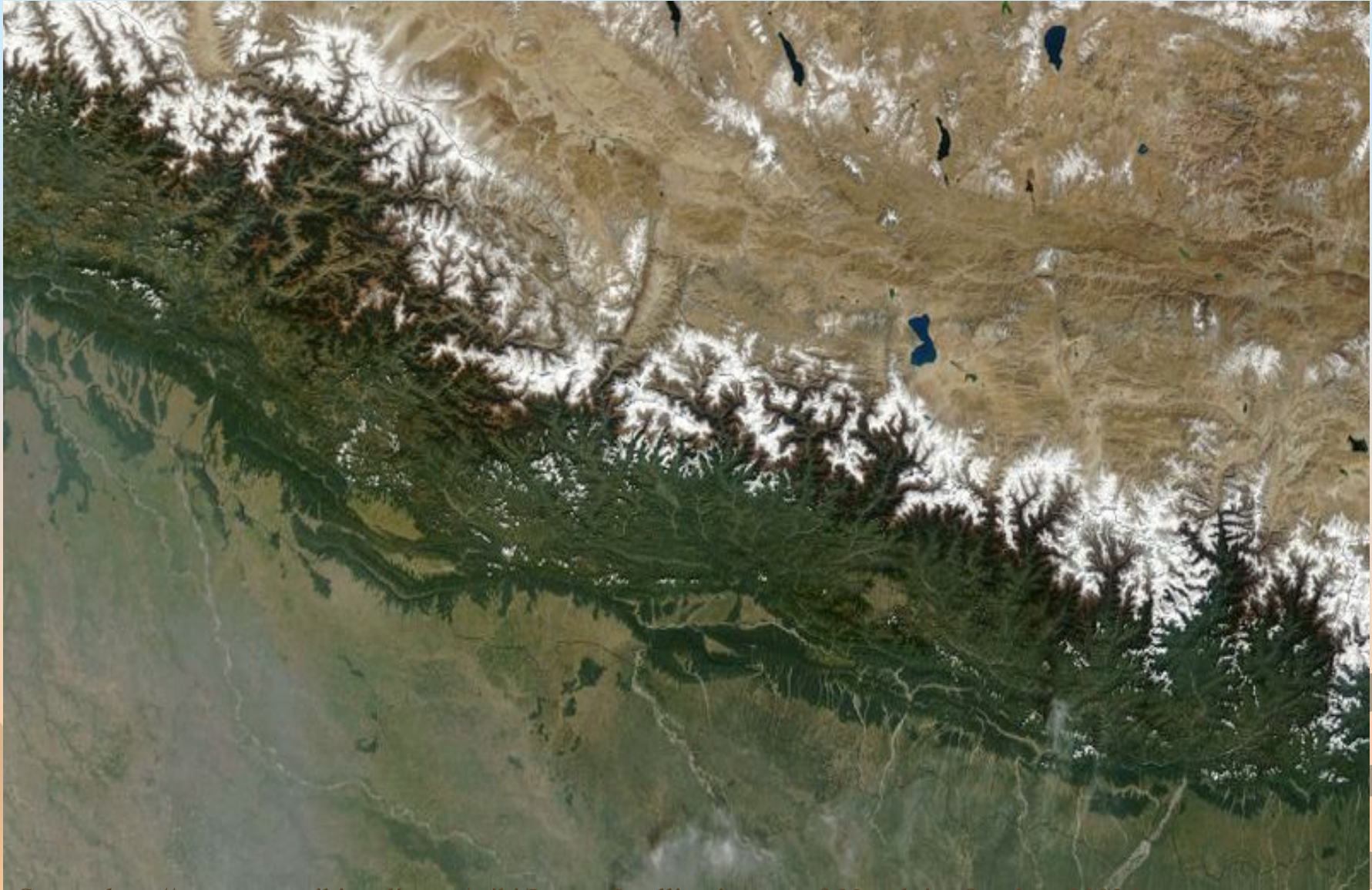
- (1) ネパールの地理
- (2) ネパールの基礎情報
- (3) ネパールの誇り
- (4) ネパールの歴史
- (5) ネパールの文化紹介



1) ネパールの地理 — その1



1) ネパールの地理 — その2

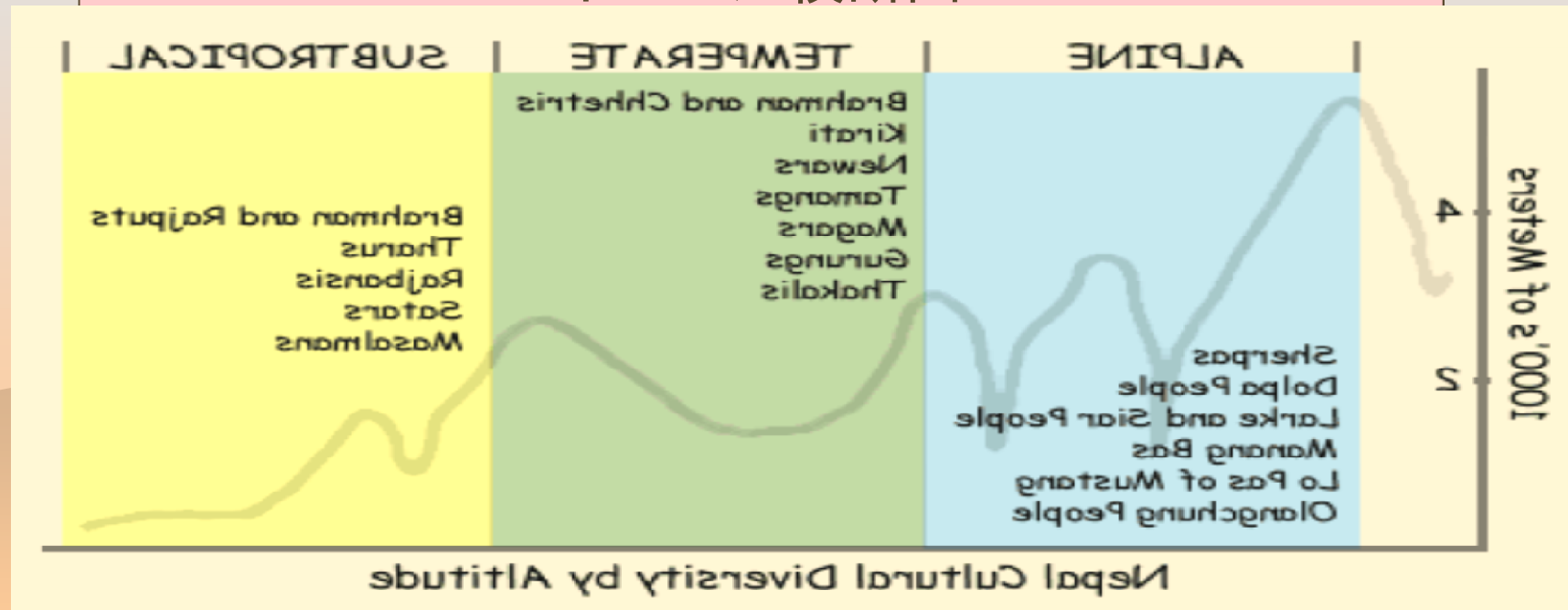


Source:http://commons.wikimedia.org/wiki/Image:Satellite_image_of_Nepal_in_October_2002.jpg

1) ネパールの地理 – その3



ネパール横断図



2) ネパールの基礎情報

Source: <http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/nepal/data.html> (日本国外務省)

国名: **ネパール連邦民主共和国**。 全土統一: 1768年

面積: (総計)147,181 平方キロメートル(**北海道の約1.8倍**)

人口: **2,804万人**(2010年、政府中央統計局推計)

首都: **カトマンズ**

民族: リンブ、ライ、タマン、**ネワール**、グルン、マガル、タカリ等

公用語: ネパール語

宗教: **ヒンドゥー教徒**(80.62%)、仏教徒(10.74%)、イスラム教徒(3.6%)他

識字率: 53.7%(2001年 国勢調査)

一人当りGDP: 約472ドル(2008/2009年度、政府中央統計局)

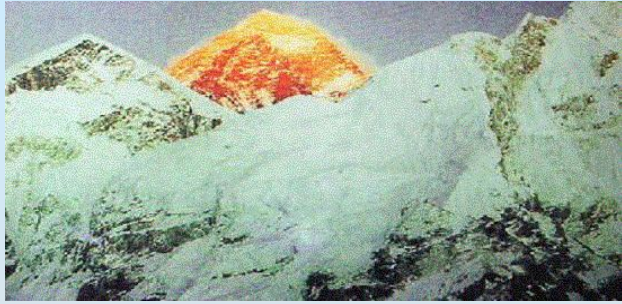
通貨: ネパール・ルピー (NPR)

政体: 連邦民主共和制

議会: 制憲議会(**601議席**)

元首: ラム・バラン・ヤダブ大統領

3) ネパールの誇り



世界最高峰エヴェレスト



釈尊誕生地



世界トップ10の内8つの高山はネパールに



ヒンドゥー教の聖地が沢山



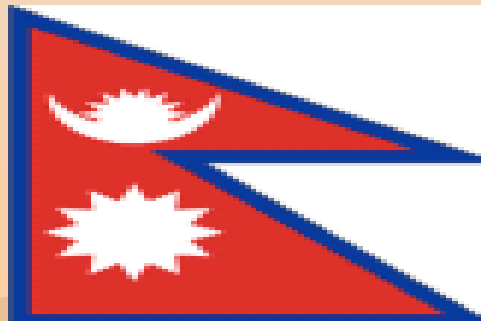
仏教の聖地が沢山



ヒンドゥー教＝仏教共存



伝統が残っている



世界一三角形国旗



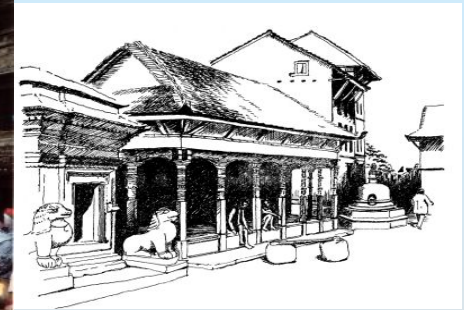
自然が宝物

4) ネパールの歴史

- ❁ **1768年** プリトゥビ・ナラヤン・シャハがグルカ勢力を率いて、ネパールを統一し、現王朝（シャハ朝）を作る。
- ❁ **1814年 - 1816年** グルカ戦争
: イギリスと三度にわたる戦争の結果敗北（三回目で敗北）
 - : かなりの領域がイギリスに奪われ、現在のヒマラヤ山麓の国境ラインに落ち着いた。
 - : 敗戦の結果ネパールはイギリスの保護国となり、グルカ兵部隊をイギリスに提供することが義務づけられた。インド独立後は英印両国に毎年グルカ兵を提供。
- ❁ **1846年 - 1951年** ラナ将軍家による専制政治。
- ❁ **1951年** 王政復古
- ❁ **1956年** 日本・ネパール外交関係樹立
- ❁ **1990年** 民主的な新憲法導入、立憲君主制となる。
- ❁ **2008年5月** 王制廃止。制憲議会発足

5) ネパールの文化紹介

文化



民族



宗教



5) 文化紹介：芸術



5) 文化紹介：食事



補足:カトマンズ盆地における伝統文化の変化

I. カトマンドゥ盆地は急激に変化している。

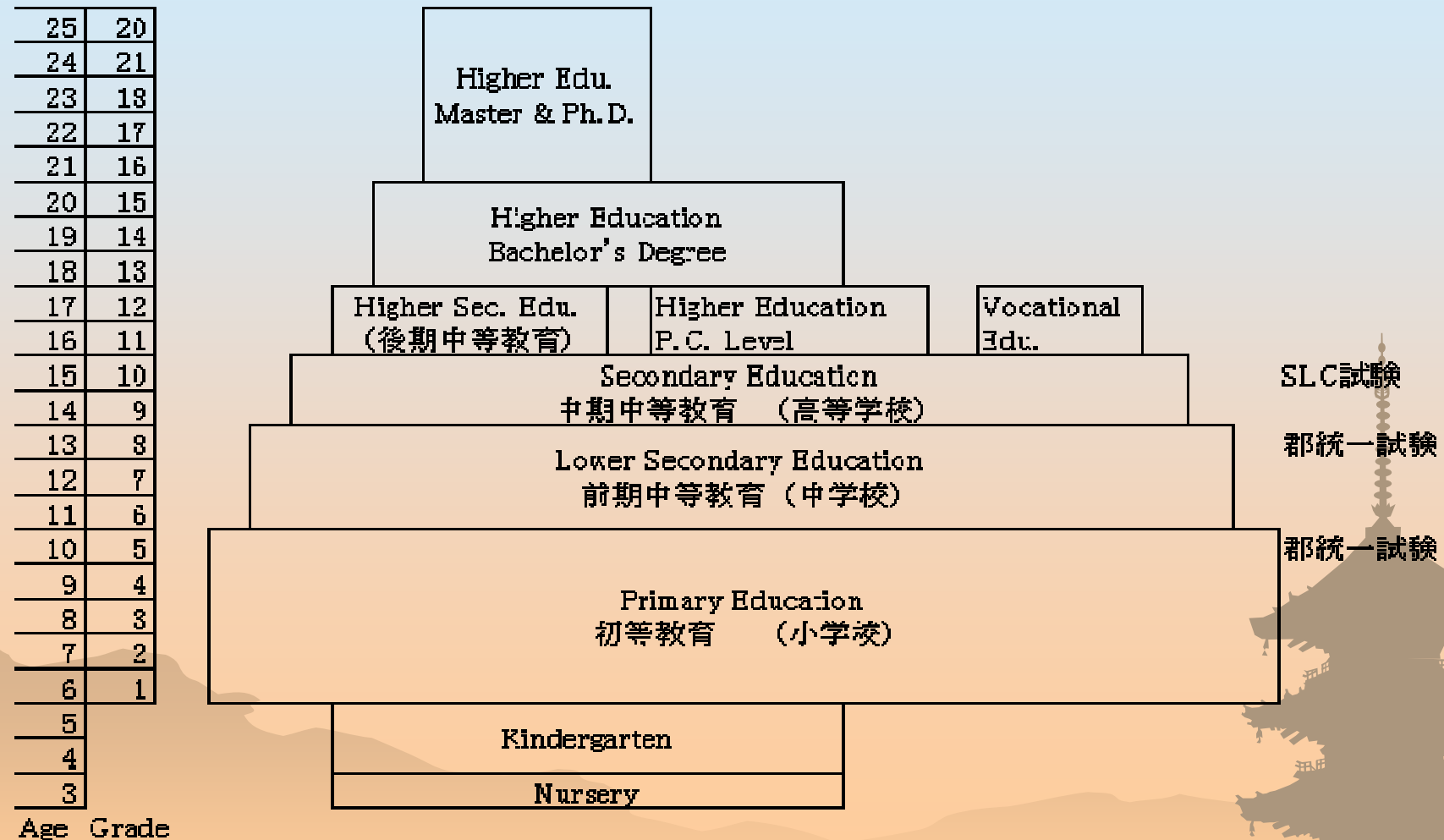
- ① 首都圏において人口密度は高い。他民族の人口が増えている。
- ② 外国のNGOはカトマンドゥ盆地に集中している。外国の文化(西洋の文化)の影響が高くなっている。
- ③ カトマンドゥ盆地に世界遺産があるために多くの外国人観光客が訪れその影響(近代化)が大きい。
- ④ IT環境が整えていて海外メディアによる海外文化の押し付けが見られる。
- ⑤ 多くの現地住民が海外に移住している。

オーソドックスなネワール人(老人)が少なく、伝統文化を強制されなくなっている。



Ⅱ. ネパールの教育システム

National Education Structure of Nepal



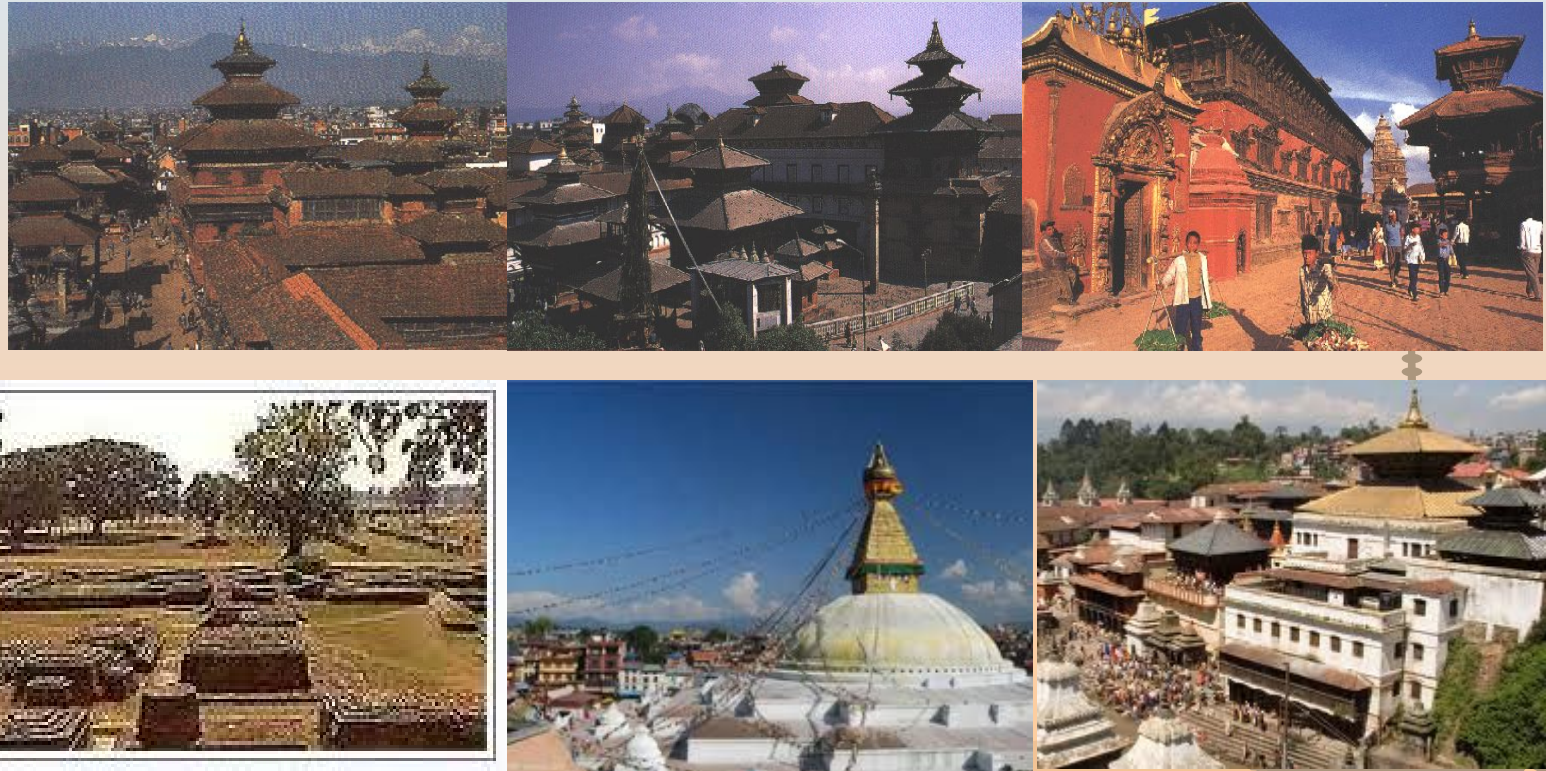
Source: 教育省資料より筆者作成

Ⅲ. ネパールの世界遺産

❁ 自然遺産



❁ 文化遺産



IV. 首都圏・遠隔地比較

- ❁ インフラ整備
- ❁ 人口密度
- ❁ 経済基盤
- ❁ 社会構造



女性世帯主の割合			
	都市部	農村部	全国
男	75.3	79.9	76.7
女	24.7	20.1	23.3



V. 日本とネパールの国際交流

- ❁ 日本ネパール文化交流：**お釈迦様の教えはもっとも必要としている時代になりました。**
- ❁ 日本ネパール人的・物的交流
- ❁ 日本政府によるネパールへの国際協力
- ❁ 草の根レベルの国際交流
- ❁ 日本企業のネパールへの投資





VI. ネペムコ(ネパール教育医療文化協会) [ラジブの個人的な挑戦]

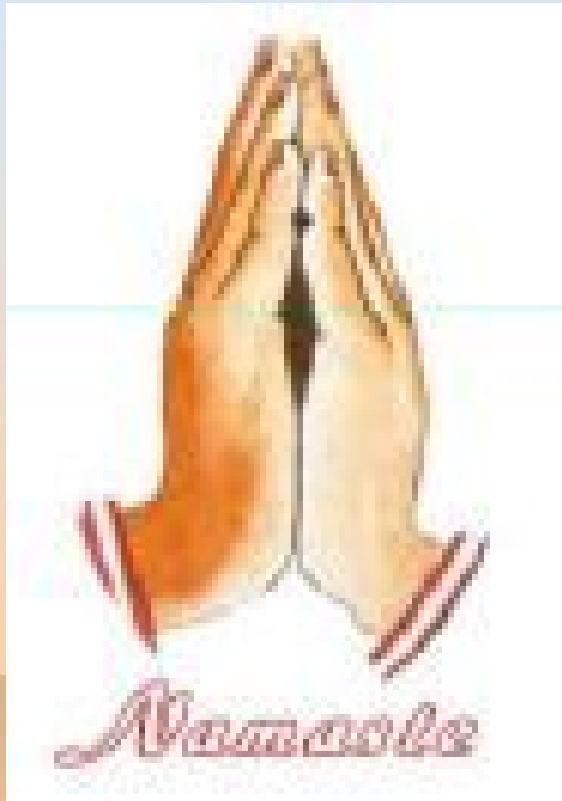
本団体は、ネパール国内において貧困及び伝統宗教そして自然災害等、経済的・社会経済的要因によって教育の機会が剥奪され、社会的に蔑視された社会的弱者とくに貧困層の子供たち・女性・エスニックグループ・幼稚なグループ・自然災害の被害者で能力のない人々に教育の支援を提供し、尊厳ある人材の養育を目的とする非営利団体です。公式URL = <http://www.nepemco-jp.org/>

2011年度ネペムコ活動

1. 識字学級運営支援: 2箇所
2. 奨学金供与: 6名
3. 週一無料クリニック実施中
4. 企画: 日本人のホームステイ受入、年賀状やカード交換、ネパールに9月18日に起きた6.9Mの大地震による被害者への協力。
5. バグマティ・セワ・ソミティ(環境関連団体)とバグマティ川の汚染問題をアピールする活動に参画

VII. 終わりに:最低限覚えてほしいこと

- お釈迦様はネパールにお生まれになりました。
- 世界最高峰エベレストはネパールの宝物。



平和の目

ご静聴ありがとうございました